



舟橋中学校だより

Funahashi Junior High School News

令和8年度 9月号 令和8年9月発行

学校の教育目標

「学びの精神」をもち、仲間を思いやり、
たくましく生きる生徒の育成

目指す生徒像

- ふ … ふるさとに根ざし、広い世界に羽ばたく生徒
- な … 仲間を思いやり、相手の立場になって考える生徒
- は … 働くことにやりがいを感じ、心と体の健康に努める生徒
- し … 知る喜び、分かる喜びを求めて学び合う生徒



学校行事予定

《9月》

- 24日(木) 中間評価範囲発表
部活動停止
- 25日(金) 学級討議
- 30日(水) 中間評価 1日目
身体計測(1年)

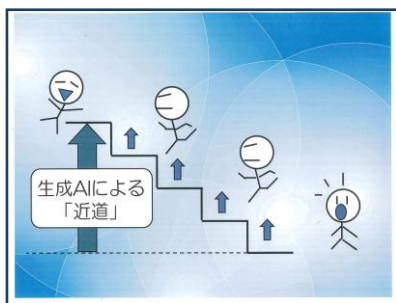
《10月》

- 1日(木) 中間評価 2日目
身体計測(2、3年)
合唱リーダー研修会
- 2日(金) 壮行会
- 3日(土) 県中学駅伝大会
- 4日(日) 県中文祭
- 5日(月) 生徒総会
合唱放課後練習スタート
- 7日(水) 特別講師による合唱指導
(各学年音楽の授業にて)
- 9日(金) 集金引き落とし日
- 10日(土)、11日(日)
新川地区新人大会
- 12日(月) スポーツの日
- 13日(火) 絵本読み書きせ(1年)
- 14日(水) 中教研大会のため、
2限後、放課(給食なし)
- 15日(木) 専門委員会
- 16日(金) 合唱リハーサル
- 19日(月) 学校訪問研修会のため
給食後、放課
- 22日(木) 前日準備
ステージリハーサル
- 23日(金) 学習発表会
合唱コンクール
- 26日(月) 教育相談開始
- 28日(水) 地域学校保健委員会
小5中2合同学習
- 29日(木) 第3回到達確認テスト
(3年)



「近道」と「回り道」のよさ、それを選ぶ力

校長 有山 博子



左のイラストは、1学期終業式の式辞で活用したスライドの一部です。AI機能付きタブレット導入に際し、「生成AI活用」に関する留意点に触れました。到達点や速さが人によって異なること、自分の足で昇ることに意味があること、途中の一段一段に一人一人の「わかった・できた」があることを子どもたちに知ってほしいという願いからです。

エレベーターを使えば、一気に目標階に到着することができます。効率的で次の動きにすぐ取り掛かることができます。階段を使えば、時間と労力を要します。しかし、各階の様子を目と耳で実感し、もしかしたら、目標階を変更するかもしれません。「近道」と「回り道」。どちらも大切であり、状況によって選択する力を育てることが求められています。中学生という発達段階にある子どもたちには、階段の昇り方、自分で昇ったからこそ得られる達成感等、「回り道」で獲得してほしい学びがたくさんあります。

下の写真は体育大会までの準備や活動の様子です。天候による予定変更を余儀なくされる日が続きましたが、子どもたちは、「じゃあ、～しよう」の思考をもって、よく考え、よく動いてくれました。1年生は2年生に学び、2年生は3年生に学び・・・といった舟橋中学校ならではの「階段」なのかもしれません。その先にある到達点「体育大会当日」の様子については、随時、学校HPに掲載していきますので、ご覧いただければ幸いです。自分たちで進んだ過程あつての到達点です。



「生成AI」を含めたツール活用については、本校でも研修を進めており、エレベーターと階段のよさを併せ持つエスカレーターのような学びを実現する手立てにしたいと考えております。教職員もまた校訓「学ぶ」の真っただ中です。

育成会の皆様に感謝いたします

昨年度に続き、安全面に配慮して、育成会費からテントウエイトを購入し、体育大会で活用させていただきました。また、熱中症対策として、子供たちに配付する麦茶ペットボトルを購入させていただきました。

当日も、子供たちが解団式を行っている時間に、有志の方々がテントの片付けにご協力くださいました。ありがとうございました。

舟橋中学校の日々の様子
(中学校HP)は、右記のQRコードからご覧になることができます



1 学年

読み聞かせ会に向けて

本年度も、総合的な学習の一環で小学生に読み聞かせ活動を行います。それに向けて9月4日（金）に舟橋図書館で、読み聞かせで大切なことを学びました。

読み聞かせには、聞き手の興味、年齢、絵が見やすい本の持ち方や季節に合っている本を選ぶなどことなど、たくさんのポイントがあることを教わってきました。

今後は、グループごとに練習をして、来月読み聞かせ会を実施する予定です。

【生徒の感想】

- ・事前の「準備」がとても大切であることが分かりました。特に、年齢に合った「本選び」が大切だということが分かりました。
- ・本の持ち方やページをめくり方、姿勢など、気を付けるポイントがたくさんあることが分かりました。早口になってしまうことがあるので、ゆっくりと読むことを意識したいです。
- ・自分の思いも込めて読むことが大切だと学びました。



2 学年

見方を変えることで気付ける良さ

9月4日（金）にスクールカウンセラーの郷田先生と SOS 教室を行いました。1学期に全校で学習した「SOS の出し方」を踏まえ、今回はものの見方を変える「リフレーミング」という活動を班で行いました。生徒たちは、のび太のダメだと思ふところをポジティブな見方に変える活動を通して、リフレーミングの考え方や様々な捉え方に気付くことができました。

【生徒の感想】

- ・つらいときは、1人で抱え込む必要はないと思った。
- ・短所も見方を変えることで長所になり、心の支えになると思った。
- ・リフレーミングの考え方で、ポジティブに考えてみたいと思った。けれど、それでも解決しないこともあると思うので、友達や大人の人に相談して解決しようと思った。
- ・見方や考え方を変えることで、短所や困っていることが、前向きになるときもあることを知ることができました。
- ・人によって考え方が違うということを改めて知ることができた。リフレーミングが苦手な所も自分の特徴だと思う。



3 学年

今の自分が舟橋村のためにできること

3学年の総合の時間では、グループごとにふるさと学習を行っています。ボランティアチームは、村が主催したボランティア活動に参加したり、生徒会が企画した駅清掃ボランティアに参加したりしました。清掃チームでは、オレンジパーク内と村内の汚れが気になる場所の清掃活動を行います。「健康と村のPRチーム」はウォーキングマップやホテルが見られる場所マップを作成しています。この学習を通して中学校を卒業しても生まれ育った舟橋村を愛し、大切に思う心が育ってくれることを願っています。

【生徒の感想】

- ・とても大変だったけど、きれいになった状態を見て、うれしい気持ちになりました。いつも何気なく使っている駅だけど、誰かが掃除するから自分は関係ないなどという他人事とならず、自分事として掃除することができました。（駅清掃）
- ・活動を通しておばあちゃん、おじいちゃんと一緒に楽しく活動し、体のことや生活において大変なことを知ることができました。普段あまりしない会話ができて新鮮でした。（ふれあいボランティア）



舟橋村にお住まいの皆様へ

いつも学校だよりを読んでいただき、ありがとうございます。舟橋中学校では、保護者の方々や地域の皆様と一緒に子どもの学びを支えていきたいと考えております。今後とも学校だよりをご一読いただき、ご意見ご要望などをお寄せください。